イドビンソ®配合錠を服用される方へ



監修
増田 純一 先生
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
薬剤部 副薬剤部長

はじめに

この冊子は、イドビンゾ®配合錠を服用される方のために、イドビンゾ®配合錠の服用方法、保管方法、飲み忘れた場合の対処法、副作用、服用上の注意点などについてまとめたものです。

わからないことや不安なことは医師、看護師、薬剤師など医療スタッフに相談しながら、よりよい治療を進めていきましょう。

監修 増田 純一 先生
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
薬剤部 副薬剤部長

CONTENTS

はじめに …… 1
イドビンゾ®配合錠とは …… 2
服用方法 …… 3
錠剤とボトルの取り扱い …… 4
毎日の服用で大切なこと …… 5
決まった時間に飲むのはなぜ？ …… 6
お薬や食品との飲み合わせ …… 7
服用にあたっての注意 …… 9
副作用について …… 10

イドビンソ®配合錠とは

イドビンソ®配合錠は、2つの有効成分を含む抗HIV薬です

イスラトラビル ＋ ドラビリン ▶ イドビンソ®配合錠

イスラトラビル	ドラビリン
ヌクレオシド系 逆転写酵素 トランスロケーション阻害剤	非ヌクレオシド系 逆転写酵素阻害剤

近年、HIV感染症の治療は大きく進歩し、体内のウイルスの増殖をおさえるさまざまな治療薬が開発されています。

患者さんは、適切な治療を続けることで、感染していない方とほとんど変わらない日常生活を送ることができるようになってきました。

現在の基本的な治療としては、2～3種類の有効成分を組み合わせる方法が広く用いられています。

イドビンソ®配合錠は、こうした治療で用いられるお薬の一つで、イスラトラビルとドラビリンの2種類の有効成分を含む、1日1回1錠の抗HIV薬です。

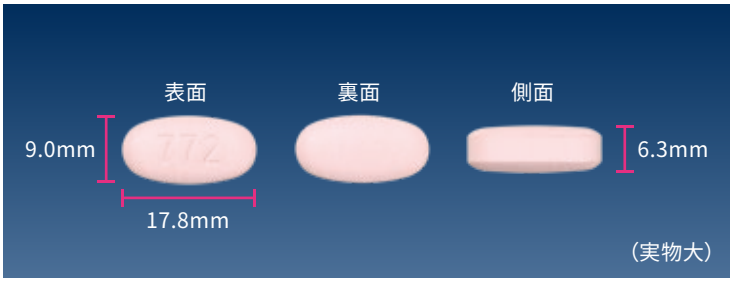


服用方法

イドビンソ®配合錠は、

■ 1日1回、1錠を服用します。

製剤写真



■ 食事の有無にかかわらず服用できます。



錠剤とボトルの取り扱い

1本のボトルに、イドビンゾ®配合錠が30錠（30日分）入っています。

キャップの開け方

❶ 上からふたを押しながら、

❷ 反時計回りに回して
開けてください。



乾燥剤

ボトルには乾燥剤が4つ含まれています。

注意：乾燥剤を誤って服用しないようにご注意ください。



保管方法

ふたを閉めて、ボトルのまま室温で保管してください。
湿気を防ぐため、乾燥剤を入れたままにしておいてください。

毎日の服用で大切なこと

1 毎日決まった時間に忘れずに服用しましょう

飲み忘れることがないように、ご自分のライフスタイルの中で、
「この時間なら忘れずに服用できる」
という時間を決めて、毎日同じ時間に服用しましょう。

例
- 朝、起きた直後
- 夕方18時
- 夜、寝る前 など



また、飲み忘れないための工夫をしましょう。

例
- 服薬アプリ
- スマートフォンのアラーム
- お薬手帳 など

2 飲み忘れてしまったら

- 予定時刻から12時間以内であればその時点で1回分（1錠）を服用し、次から通常の服用スケジュールに戻ってください。
- 予定時刻から12時間を超えた場合は、1回分の服用をとばして、次の予定時刻に1回分（1錠）を服用してください。一度に2回分を服用しないでください。

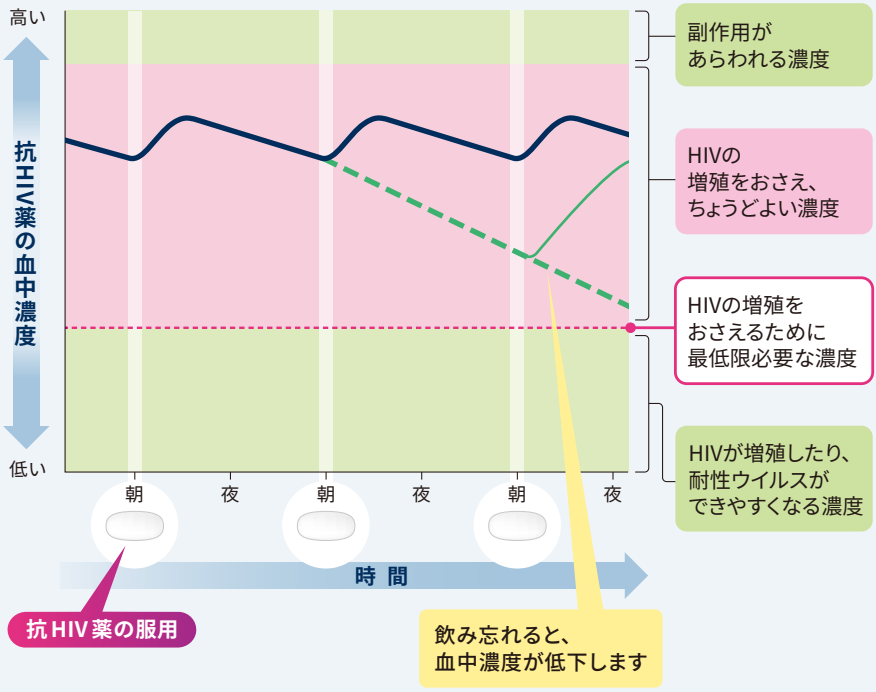
3 自己判断で服用を中止したり、服用量を変更したりしないでください

- 体調が良いから、あるいは副作用が心配だからと、勝手にお薬を服用するのをやめたり、量を変更してはいけません。自己判断せずに、医師の指示を守って服用してください。

決まった時間に飲むのはなぜ？

抗HIV薬は、毎日決まった時間に決められた量を守って服用すれば、ウイルスの増殖をおさえる血中濃度が維持できます。

図：1日1回、朝に飲んだときの薬の血中濃度の動き（例）

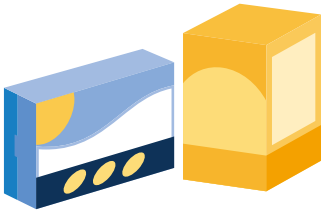


- 決まった時間（朝）に決められた量を服用した場合
- 2日目の朝に飲み忘れて、3日目の朝にも飲み忘れた場合
- 2日目の朝に飲み忘れて、3日目の朝に服用した場合

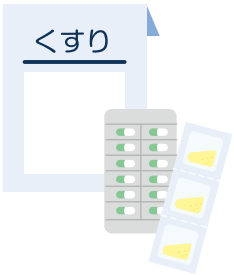
お薬や食品との飲み合わせ

他のお薬を服用中、または服用を始める場合は、医師や薬剤師にご相談ください

- お薬の飲み合わせ※には注意が必要です。飲み合わせによっては、抗HIV薬の血中濃度が低くなり、体内でウイルスが増殖したり、耐性ウイルスができてしまう場合があります。また、抗HIV薬の血中濃度が高くなり、副作用があらわれてしまう場合もあります。
- 他の病院にかかったり、市販薬やサプリメント、健康食品などを購入する場合は、あらかじめ医師や薬剤師に相談しましょう。



市販薬



他の病院からもらった処方薬



サプリメント・健康食品　など

※飲み合わせとは、複数のお薬を一緒に服用することによって、あるお薬の作用が強くあらわれたり、あるいは逆に弱まったりすることです。

以下のお薬とは一緒に飲むことができません

- 抗けいれん薬
  （カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン）
- 前立腺癌治療剤（エンザルタミド、アパルタミド）
- 抗マイコバクテリア薬（リファンピシン）
- 副腎癌化学療法剤・副腎皮質ホルモン合成阻害剤（ミトタン）
- 抗悪性腫瘍剤［IDH1阻害剤］（イボシデニブ）
- 抗悪性腫瘍剤［BRAF阻害剤］（エンコラフェニブ）
- 抗HIV薬（ラミブジン、エムトリシタビン）
- セイヨウオトギリソウ
  （St. John’s Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品



お薬手帳などを活用し、服用しているお薬をチェックしてもらいましょう。

服用にあたっての注意

以下に当てはまる方は
医師・薬剤師にご相談ください

1. 腎機能に重度の障害をきたしている方
2. 肝機能に重度の障害をきたしている方
3. 妊婦または妊娠している可能性のある方
4. 授乳をしている方
5. 小児の方



副作用について

以下の症状にご注意ください

服用中に、頭痛、めまい、下痢、お腹のはり、
だるさ（疲れやすさ）などが
あらわれることがあります。
体調の変化を感じたときは、
すぐに医師、看護師、薬剤師に
連絡してください。



服用で困ったときは
すぐに医療スタッフにご相談ください

体調の変化以外でも、お薬の服用方法で
わからないことや心配なことがあれば、
ご自分で判断せずに医師、看護師、
薬剤師にすぐに相談してください。



MSD

イドビンソ®配合錠を服用される方向けの
WEBサイトはこちら

病院名

2026年8月作成
IDV26PA0147